

# 平成29年度 当初予算の概要



大阪府 茨木市

## 平成 29 年度 予算 総括 表

(単位：千円・%)

区 分	本年度予算額	前年度予算額	比 較	
			増 減 額	増 減 率
一 般 会 計	88,880,000	87,723,177	1,156,823	1.3
特 別 会 計	61,723,682	60,057,764	1,665,918	2.8
財 産 区 会 計	5,155,132	5,250,135	△95,003	△1.8
国民健康保険事業会計	34,659,334	34,450,290	209,044	0.6
後期高齢者医療事業会計	3,666,225	3,393,846	272,379	8.0
介護保険事業会計	18,242,991	16,963,493	1,279,498	7.5
下 水 道 等 事 業 会 計	11,875,783	11,636,959	238,824	2.1
水 道 事 業 会 計	9,178,079	8,581,453	596,626	7.0
総 計	171,657,544	167,999,353	3,658,191	2.2

※表内の一般会計・国保会計・後期会計・介護会計の前年度予算額は6月補正後予算額

# 平成29年度 当初予算の概要

## 1. 基本方針

マニフェストへの対応と、総合計画の着実な推進により  
わがまち茨木の「**確かな未来**」がイメージできる予算へ

平成29年度は、わがまち茨木の「確かな未来」の実現に向け、子育て、教育、安全・安心への取り組みをはじめとする幸せあふれる未来へとつなぐ「**今**」必要なサービスの充実を図るとともに、JR新駅周辺整備や北部整備の推進などの魅力ある快適なまちへとつながる「**将来**」へのまちづくり、持続的発展を支える「**財政の健全性**」を確保のもと、予算を編成。



- **幸せあふれる未来へとつなぐ「今」必要なサービスの充実**
  - ・待機児童ゼロの実現をめざした対策
  - ・ひとりも見捨てない全国トップレベルの教育の推進
  - ・地域を守る防災・防犯体制の充実
- **魅力ある快適なまちへとつながる「将来」へのまちづくり**
  - ・道路・街路・JR新駅等の整備
  - ・北部地域のプロジェクトの推進
- **持続的発展を支える「財政の健全性」の確保**
  - ・事務事業の見直し（経常経費の精査等）3億円
  - ・市債発行の適正化（建設債の発行を財政計画の限度額に抑制）31億円

## 2. 主な内容

※ [ ] 内は29年度予算における新規・拡充額

### まちづくり

**みんながいきる**  
人と自然が共生する持続可能なまちに

- ・市民会館跡地活用の検討 [655万円]
- ・多世代近居・同居支援の実施 [1,500万円]
- ・JR新駅及び新駅周辺の整備 [16億3,959万円]
- ・茨木松ヶケ本線ほか道路・街路の整備 [7億8,087万円]
- ・安威川ダム周辺の周辺整備 [4億3,080万円]

### 教育

**らしさをいかす**  
次代の茨木を担う人を育むまちに

- ・小・中学校学習サポーターの設置 [1億2,114万円]
- ・小・中学校等における英語教育の充実 [1,007万円]
- ・春日小規模保育施設及び学童保育室の整備 [4億4,708万円]
- ・子ども・若者の居場所（ユースプラザ）の開設 [2,380万円]
- ・子育て世代包括支援事業の実施 [373万円]

### 福祉

**いのちを守る**  
ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに

- ・第2次総合保健福祉計画の策定 [1,758万円]
- ・かしの木園における自立訓練事業の実施 [432万円]
- ・糖尿病の重症化予防に向けた医薬連携 [304万円]
- ・ぶらっとホーム事業の拡充 [480万円]
- ・高齢者詐欺被害等防止対策機器の設置 [163万円]

### 経済

**活気あふれる**  
都市活力があふれる心豊かで快適なまちに

- ・DIO「リノベのいばらき」プロジェクトの実施 [2,500万円]
- ・ブランドメッセージ（ロゴ）を活用した魅力発信 [1,684万円]
- ・創業者支援セミナーへの補助 [89万円]
- ・里山ふれあいオートキャンプ場の開設 [630万円]
- ・（仮称）いばらき文学賞の創設 [106万円]

### 安全

**いざ、に備える**  
ともに備え命と暮らしを守るまちに

- ・市内全域防災訓練等の実施 [704万円]
- ・指定避難所運営体制の強化 [300万円]
- ・指定避難所の誘導標識の再整備 [940万円]
- ・災害用備蓄物品の更新及び増強 [1,259万円]

### 対話

**議論を重んじる**  
対話重視で公平公正な市政運営

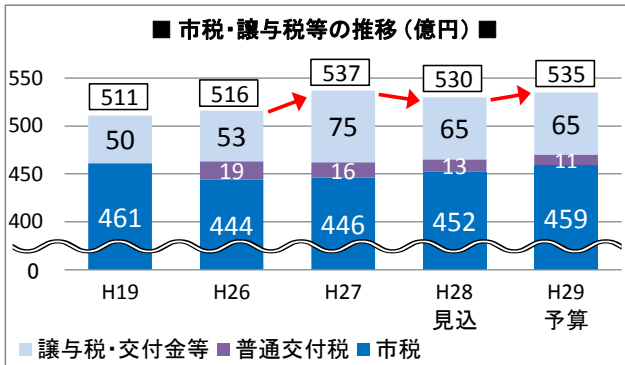
- ・確かな未来ミーティングの推進 [30万円]
- ・いばらき・大学連携事業の拡充 [510万円]
- ・公共施設等マネジメントの推進 [606万円]

### 3. 財政状況

#### 市税等の一般財源、社会福祉経費、市債残高の状況

※各図のH28見込は3月補正時点の見込数値

#### 1 増収が見込まれる税等一般財源

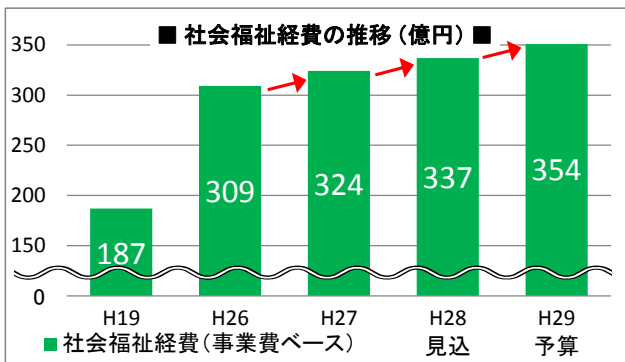


市税収入は、景気が緩やかな回復基調にあることや課税対象者の増加により、個人・法人市民税が1億円の増収を、また、新規宅地化に伴い固定資産税が6億円増収となることを見込む。

一方で、普通交付税については、前年度と比べて2億円減少することを見込む。

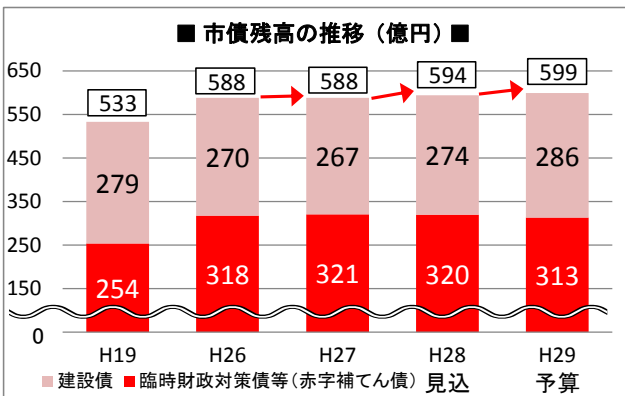
市税、交付税、譲与税・交付金等をあわせた税等一般財源の総額は、前年度と比べて約5億円増の535億円となるものと見込む。

#### 2 増加する社会福祉経費と市債(借金)残高



社会福祉経費は、障害福祉サービスに係る給付費や私立保育所の負担金等の扶助費が、引き続き増加することを見込むことに加え、高齢化の進展により後期高齢者の療養給付に係る負担金や介護保険事業への繰出金等も増加する見込みのため、総額は前年度と比べて17億円増加するものと見込む。

※社会福祉経費：扶助費、国保・介護・後期高齢者繰出金、後期高齢者療養給付費負担金の合計

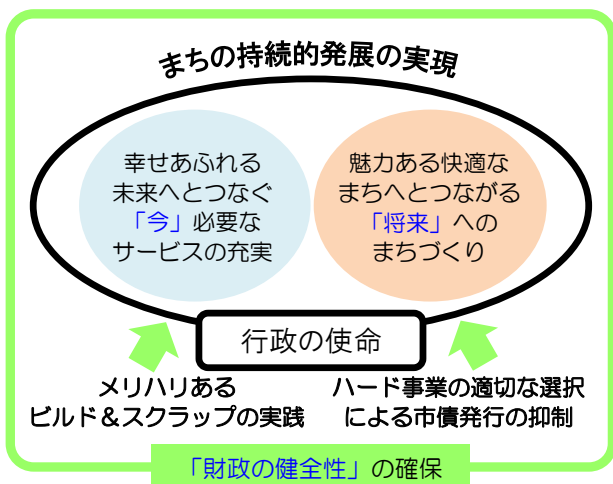


市債(借金)は、「将来」のまちづくりのために借入れる建設債を、財政計画において設定する31億円としたものの、交付税の不足分を補うための臨時財政対策債(赤字補てん債)の借入を17億円見込むことから、市債残高は増加するものと見込む。

※赤字補てん債：交付税制度における地方の一般財源の減収分を補うために発行する市債(臨時財政対策債等)

社会福祉経費や公債費等の義務的な経費の増加は、財政の硬直化を招く要因となることから、引き続き、財政計画に基づく健全財政に向けた取組みを実践する。

#### 3 「今」と「将来」に対応した施策の実現と「健全性」の確保



平成29年度は、税等一般財源の伸び以上に社会福祉経費が増加する厳しい状況の中、財政計画における「将来にわたり行政の使命を果たす」取組みとして、「ビルド&スクラップ」の実践に努めるとともに、将来の公債費負担を軽減するための「ハード事業の適切な選択」による市債発行の抑制に取り組んだことにより、マニフェストへの対応及び第5次総合計画の着実な推進を図ることができた予算を編成した。

今後も行政の使命である「まちの持続的発展の実現」に向けた取組みを引き続き実践していく。



## 4. 予算総額と歳入歳出の内容 [一般会計]

### 1 予算総額

**888.8億円**

[対前年度11.6億円増(1.3%増) 平成28年度6月補正後予算877.2億円]

### 2 主な歳入の状況

項目	H29予算	H28予算 (6月補正後)	H29-H28	主な増減内容
市 税	458.6億円	440.2億円	18.4億円	前年6月補正予算比 4.2%増 個人 7.0億円 法人 2.9億円 固定資産 8.1億円 市たばこ税 △0.9億円
譲与税・交付金	62.5億円	69.6億円	△7.1億円	配当割交付金 △2.7億円 株式等譲渡所得割交付金 △2.5億円 地方消費税交付金 △2.0億円
地方交付税	13.4億円	16.4億円	△3.0億円	普通交付税 △3.0億円
国庫支出金	172.4億円	177.8億円	△5.4億円	年金生活者等支援臨時給付金 △7.7億円 保育所等整備交付金 △4.9億円 臨時福祉給付金 5.3億円 障害者介護給付費等負担金 2.6億円
府支出金	67.9億円	59.9億円	8.0億円	安心こども基金 3.5億円 障害者介護給付費等負担金 1.3億円 施設型給付費負担金 0.8億円 子ども・子育て支援整備交付金 0.8億円
諸 収 入	32.9億円	30.7億円	2.2億円	ダム関連道路整備負担金 1.1億円 新名神関係助成金収入 0.9億円
市 債	55.8億円	57.5億円	△1.7億円	
赤字補てん債	21.8億円	27.9億円	△6.1億円	臨時財政対策債 通常分 △5.6億円 借換債 △0.5億円
建設債	34.0億円	29.6億円	4.4億円	通常分 1.7億円 (道路新設改良債 4.6億円、街路整備債 1.2億円、 中学校校舎整備債 △2.7億円、中学校校舎建設債 △1.5億円) 借換債 2.7億円

### 3 主な歳出の状況

項目	H29予算	H28予算 (6月補正後)	H29-H28	主な増減内容
人 件 費	145.9億円	144.6億円	1.3億円	給料 0.7億円 職手 △0.2億円 (期末勤勉1.0、退手△0.8、時間外△0.6) 共済費 0.5億円 (厚生年金1.3、共済組合△0.7)
物 件 費	165.1億円	163.4億円	1.7億円	認定こども園給食調理委託 0.6億円 幼稚園・認定こども園賃金 0.6億円 共通基盤構築業務委託 0.5億円 公園施設維持管理委託 0.4億円
扶 助 費	266.4億円	259.0億円	7.4億円	介護給付費・訓練等給付費 4.9億円 地域型保育給付費負担金 2.3億円 施設型給付費負担金 2.3億円 生活保護費 △2.0億円
補 助 費 等	73.6億円	76.2億円	△2.6億円	年金生活者等支援臨時給付金 △7.7億円 私立幼稚園保護者補助金 △1.0億円 臨時福祉給付金 5.3億円 療養給付費負担金 2.1億円
投資的経費	81.1億円	81.0億円	0.1億円	JR新駅周辺整備事業 3.6億円 道路新設改良事業 3.5億円 中学校営繕事業 △3.6億円 私立保育所等建設補助事業 △2.8億円
繰 出 金	89.7億円	88.2億円	1.5億円	介護保険特別会計 1.9億円 国保特別会計 1.3億円 後期高齢者医療特別会計 0.4億円 下水道等事業会計 △1.9億円
公 債 費	56.5億円	54.3億円	2.2億円	元金 3.2億円 (うち借換債2.2億円) 利子 △1.0億円

# 平成29年度一般会計予算総括表

(歳入)

(単位:千円・%)

款	予 算 額	左 の 内 訳		備 考	
		特 定 財 源	一 般 財 源		
1 市 税	45,860,000		45,860,000	前年度予算額	44,019,764
				(対前年度)	4.2%増)
2 地方譲与税	470,000		470,000	自動車重量	321,000
				地方揮発油	149,000
3 利子割交付金	60,000		60,000	前年度予算額	110,000
				(対前年度)	45.5%減)
4 配当割交付金	230,000		230,000	前年度予算額	500,000
				(対前年度)	54.0%減)
5 株式等譲渡 所得割交付金	150,000		150,000	前年度予算額	400,000
				(対前年度)	62.5%減)
6 地方消費税 交付金	4,800,000		4,800,000	前年度予算額	5,000,000
				(対前年度)	4.0%減)
7 ゴルフ場利用税 交付金	82,000		82,000	前年度予算額	91,000
				(対前年度)	9.9%減)
8 自動車取得税 交付金	200,000		200,000	前年度予算額	160,000
				(対前年度)	25.0%増)
9 地方特例交付金	209,000		209,000	前年度予算額	209,000
10 地方交付税	1,340,000		1,340,000	普通交付税	1,080,000
				特別交付税	260,000
11 交通安全対策 特別交付金	47,000		47,000	前年度予算額	45,000
				(対前年度)	4.4%増)
12 分担金及び 負担金	468,221	468,221		私立保育所利用者負担額	445,847
				バスターミナル利用分担金	11,407
13 使用料及び 手数料	1,785,754	1,452,749	333,005	廃棄物処分手数料	264,959
				道路占用料	261,938
14 国庫支出金	17,241,721	17,241,721		生活保護費等負担金	5,215,057
				児童手当等負担金	3,504,416
15 府支出金	6,794,012	6,794,012		障害者介護給付費等負担金	994,499
				施設型給付費負担金	854,649
16 財産収入	53,523	695	52,828	土地建物貸付収入	40,593
				物品売払収入	7,653
17 寄附金	45,340	4,707	40,633	一般寄附金	40,033
				社会福祉事業寄附金	3,000
18 繰入金	67,228	67,000	228	福祉事業推進基金	58,000
				緑化基金繰入金	9,000
19 繰越金	100,000		100,000		
20 諸収入	3,292,401	2,586,360	706,041	小学校給食費	808,569
				中小企業貸付金元金収入	350,000
21 市債	5,583,800	3,893,800	1,690,000	建設債	3,129,500
				臨時財政対策債	1,690,000
				借換債	764,300
合 計	88,880,000	32,509,265	56,370,735		
予 算 比	1.3	2.8	0.5		

※表内の前年度予算額は、6月補正後予算額



# 【当初予算の主な内容】

◎はマニフェスト ☆新規ソフト事業

(単位：千円)

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
<b>1 みんながいきる 人と自然が共生する持続可能なまちに ~まちづくり~</b>					
まちづくり計画・空家対策					
◎	1 中心市街地活性化基本計画の策定	中心市街地の活性化を総合的かつ一体的に推進し、賑わいづくりや魅力向上を図るため、中心市街地活性化基本計画を策定（平成26年度～29年度〈予定〉）する。	4,783		4,783
◎	2 立地適正化計画の策定	多核ネットワーク型都市構造を具現化するため、改正都市再生特別措置法に基づく立地適正化計画の策定（平成28年度～30年度〈予定〉）する。	6,719	3,078	3,641
☆	3 居住マスタープランの策定	今後の少子高齢化や人口減少社会を見据え、住生活や住環境の変化に対応した『住まいと暮らしのあり方』を示す総合的な計画を2か年で策定する。	6,536	3,186	3,350
◎	4 空家活用の推進	空家の有効活用を促進するため、「空家等対策計画」に基づき、セミナーの開催や所有者に対する空家の活用・改修に関する情報提供等を行う。	3,362		3,362
駅前再開発・活性化					
◎	5 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業基本計画の策定	阪急茨木市駅西口の駅前広場における駅周辺の歩行者導線の円滑化及び交通広場としての機能向上を図るとともに、交流広場として活気ある空間を創出するため、再整備に向けた事業基本計画を策定する。	31,884	4,700	27,184
◎	6 J R 茨木駅西口駅前周辺整備基本計画等の策定	J R 茨木駅西口の駅前広場周辺の交通結節点機能の強化など駅利用者の利便性の向上を図るとともに、市の玄関口としての魅力と活力を生み出す空間を創出するため、整備に向けた基本計画等を策定する。	14,809	3,200	11,609



事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ 7	阪急総持寺駅西 口駅前広場整備 事業 委託、補償	63,000	56,700	6,300
<b>JR新駅関連事業</b>				
◎ 8	J R 新駅整備事 業 負担金 [自由通路] [道路改良]	228,691	202,945	25,746
◎ 9	J R 新駅周辺整 備事業 ・市道総持寺9号線ほか整備事業 委託、工事、用地、借地 ・総持寺駅前線 委託、工事、用地、補償、負担金 ・庄中央線 委託、工事、用地、補償 ・その他(公嘱登記) 委託	1,410,900	1,314,632	96,268
10	J R 新駅開業記 念式典の開催 【29頁参照】 J R 新駅の開業を記念し、新駅及び駅前広場・自由通路等周辺 整備の完成記念式典を開催する。	1,620		1,620
<b>市民会館跡地・元茨木川緑地等活用</b>				
◎ 11	市民会館跡地活 用の検討 市民会館跡地活用について、専門的・多面的な立場から検討す るため、審議会を開催するとともに基本構想を策定する。	6,545		6,545
☆ 12	元茨木川緑地の 緑の利活用検討 多くの利用がある元茨木川緑地について、将来にわたってさら に親しまれる緑地となるよう、緑の利活用について検討するシ ンポジウム等を行う。	5,407		5,407
☆ 13	立命館いばらき フューチャープ ラザグランド ホールの利用補 助 立命館いばらきフューチャープラザのグランドホールにおける 市民団体の利用を促進するため、利用料金を補助する。 (対象) 市内で活動する団体が実施する文化・福祉・教育 等に関する無料のイベント等 (補助額) 一般 57,000円(全日上限) 高校生以下 128,000円(全日上限)	4,553		4,553

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
<b>公共交通・交通安全</b>					
◎ ☆ 14	公共交通バス マップの作成	主要な公共交通手段である路線バスのさらなる利便性向上、利用促進を図るため、市内のバス路線情報が集約された公共交通マップを作成する。	4,000		4,000
◎	バスロケーションシステムの導入補助	バス利用者の利便性や利用頻度の向上や逸走の防止を図るため、バス事業者が導入するバスロケーションシステム（リアルタイムでバス運行情報を提供）に対し補助する。	2,718		2,718
☆	高齢者向け自転車用ヘルメットの配布 【30頁参照】	65歳以上高齢者の自転車事故の重傷化を防止するため、交通安全等のイベントを通して頭部を守る自転車用ヘルメットを配布する。	1,000		1,000
<b>道路交通</b>					
17	茨木松ヶ本線整備事業	工事、用地、借地、負担金	439,034	413,800	25,234
18	茨木松ヶ本線竣工式典の開催 【29頁参照】	茨木松ヶ本線の全線供用開始を記念し、供用開始記念式典を開催する。	2,907		2,907
19	道路新設・改良事業（補助分）	・宿久庄二丁目安威一丁目線 委託、工事、用地 ・天王一丁目沢良宜西二丁目線 工事、用地、補償、負担金	130,400	120,600	9,800
20	道路新設・改良事業（単独分）	・高田町豊川四丁目線 工事 ・沢良宜西一丁目玉島台線 工事、用地、補償 ・千提寺2号線 工事 ・岩倉町地区内道路（スカパレット） 工事 ・大住町地区内線 補償 ・中央通り壁面改修 工事	142,100	96,300	45,800
21	歩道設置事業	・バリアフリー推進（段差解消、点字ブロック等） 工事 ・三島丘二丁目鮎川二丁目線 工事 ・田中町西河原線 委託 ・橋の内14号線（通学路カラー舗装） 工事 ・その他（歩道段差改良、横断歩道新設等） 委託、工事、負担金	69,335	32,450	36,885

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
北部地域のプロジェクト				
22 新名神開通イベント等の開催【31頁参照】	新名神高速道路の開通にあたり、北部地域の自然や歴史等の魅力を知ってもらうイベントの実施や、新名神高速道路の跨道橋に北部地域をPRするための横断幕を設置する。	8,120	2,000	6,120
☆ 23 いばきたフォトサイクリングの実施	北部地域の魅力向上やファンづくりを進めるため、参加者が自転車で見山の郷等の地域資源を周り、写真を撮ってSNS等で魅力発信を行うイベントを実施する。	1,991		1,991
24 彩都関連事業	[彩都西駅前警察官立寄所整備] 委託、工事、負担金  [山麓線 第4工区] 委託、工事、用地  [谷山水路] 工事、用地	393,892	342,700	51,192
25 新名神関連事業	[泉原千提寺線] 委託、工事  [安元地区内線] 工事  [安元児童遊園整備] 工事  [展望台整備] 負担金	199,229	185,205	14,024
26 ダム関連事業	[大岩9号線] 工事  [車作1号線] 委託  [車作地区土地改良事業] 工事  [安威川ダム周辺整備] 委託	430,800	383,800	47,000

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
<b>公園・緑地</b>				
27 公園再整備事業 (長寿命化対策)	委託 工事 [桑田公園] [耳原公園] [奈良東公園]	107,000	96,200	10,800
<b>下水道等事業</b>				
28 [下水道等事業会計] 公共下水道BCP (事業継続計画)の策定	地震等の災害発生時において、速やかにかつ高いレベルで機能を維持・回復するため、公共下水道BCP(事業継続計画)を策定する。	10,000	4,500	5,500
29 [下水道等事業会計] 下水道等事業経営戦略の策定	将来にわたる安定的な事業継続のため、中長期的な経営の基本計画となる経営戦略を策定する。	23,588		23,588
30 [下水道等事業会計] 公共下水道整備事業	委託、工事	298,900	253,957	44,943
31 [下水道等事業会計] 下水道施設の長寿命化対策	委託、工事、負担金	162,000	142,000	20,000
32 [下水道等事業会計] ポンプ場整備事業	[安威ポンプ場] 委託 [大池ポンプ場] 委託、工事	781,000	740,950	40,050
<b>多世代の近居・同居支援</b>				
☆ 33 多世代近居・同居支援の実施 【32頁参照】	多世代が支え合い暮らせるまちづくりを進めるとともに、多世代の近居・同居を支援し定住促進を図るため、住居取得やリフォームにかかる費用を補助する。 〈対象〉市内で親もしくは子、孫と同居・近居するために転入してきた「親世帯」や「子育て世帯」、「40歳未満の夫婦世帯」 〈内容〉住宅取得、リフォーム(上限20万円)	15,000		15,000

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
<b>環境</b>				
34	クール・チョイス・コンテストの実施 COOL CHOICEを広く市民に周知し、さらなる推進を図るため、様々な環境配慮行動に係るアイデアを募り、環境フェアにおいてコンテスト形式で入選作を選出する。	224		224
35	生きもの発見ガイドブックの作成 生物多様性についての理解を深めるため、市内で発見可能な生物の識別方法や特性を紹介し、観察する際に活用できる生きもの発見ガイドブックを作成する。	2,250		2,250
☆ 36	事業系ごみ減量の推進 事業系紙ごみの排出抑制と再資源化を図るため、事業所における紙ごみ分別ボックス購入に係る費用への補助を行う。 〈対象〉市内事業所 〈補助額〉対象経費の1/2（1事業所あたり上限10万円）	1,637		1,637
37	循環型社会形成推進地域計画の策定 廃棄物の適正処理を図るため、今後、処理施設の整備事業等を進めるにあたり必要となる循環型社会形成推進地域計画を策定する。	6,669		6,669
38	再生資源集団回収報奨金の拡充 古紙等の再資源化を促進する再生資源集団回収報奨金について、支給団体数及び資源物回収量の増加を図るため、報奨金の支給要件の緩和と支給区分を変更し、制度を拡充する。 【予算総額 22,535】	771		771
☆ 39	小型家電等回収事業のモデル実施 小型家電の分別回収・レアメタル等の再資源化の促進や水銀による環境汚染を防止するため、拠点回収を2地区でモデル実施する。 〈回収対象〉 ・使用済小型家電（携帯電話、パソコン、ドライヤー等） ・水銀使用廃製品（蛍光灯、体温計等）	1,201	25	1,176

**2 らしさをいかず 次代の茨木を担う人を育むまちに ～教育～**

**待機児童対策・学童保育・保育環境の充実**

◎ 1	私立保育所等の建設補助 待機児童の解消と保育環境の改善を図るため、私立保育所等の建替えや認定こども園の新設にかかる費用を補助する。	431,508	415,685	15,823
-----	--	---------	---------	--------

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ 2 春日小規模保育施設の整備	保育の受け皿の確保を図るため、春日小学校用地に小規模保育施設を整備する。 開設：平成30年4月 定員：19名（0歳児・1歳児・2歳児）	169,200	155,396	13,804
◎ 3 小規模保育事業所の整備補助	保育の受け皿の確保を図るため、小規模保育事業所（2か所）の新設に対して補助を行う。	48,000	42,666	5,334
4 私立保育所等防音壁整備への補助	私立保育所・認定こども園の防音対策を進めるため、防音壁の整備にかかる費用を補助する。	51,612	34,408	17,204
5 公立保育所改修事業	工事 [郡保育所] 委託（設計） [総持寺保育所]	80,000	64,000	16,000
◎ 6 公立幼稚園の認定こども園化	待機児童解消を図るため、平成29年4月から公立幼稚園5カ所を認定こども園とし、新たに3歳児及び保育を必要とする児童の受入を行う。 [移行園] 茨木・福井・西・太田・水尾	217,654	140,095	77,559
◎ 7 待機児童保育室みらいの開設	待機児童の解消・保育の受け皿の確保を図るため、待機児童保育室みらい（旧西河原分署）を開設する。 開設：平成29年4月 定員：40名（1歳児・2歳児）	55,305	10,317	44,988
8 特定教育・保育施設の利用者負担額等に関する審議会の設置	教育・保育の質の改善に伴う公定価格の増額が継続して実施されている現状において、受益者負担の適正化を図るため、利用者負担額の検証・分析を行う審議会を設置する。	557		557

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ 9 学童保育室の整備	学校内に余裕教室がなく、今後も児童数の増加が見込まれる春日小学校と福井小学校において、学童保育室の整備を行う。	277,877	259,300	18,577
<b>子育て支援</b>				
☆ 10 子育て世代包括支援事業の実施【33頁参照】	妊娠期から子育て期までをきめ細かく支援する体制を構築するため、子育て世代包括支援事業（母子保健型利用者支援事業）を実施する。	3,728	2,484	1,244
11 つどいの広場（地域子育て支援拠点事業）の増設	子育て支援の充実を図るため、地域子育て支援の拠点となる「つどいの広場」の実施場所を増設（15か所→17か所）する。 【予算総額：113,808】 〈増設場所〉庄栄・畑田	2,963	1,974	989
12 地域における利用者支援事業の実施	子育て支援の充実を図るため、子育てに関する情報提供や相談等を行う利用者支援事業を各公立保育所で実施する。	1,205		1,205
<b>虐待予防</b>				
☆ 13 児童虐待対応強化支援員の配置	児童福祉法改正に対応するための体制強化や、増加傾向にある虐待事案に対し適切な対応を図るため、虐待対応強化支援員を配置する。	3,529	1,302	2,227
<b>子ども・若者の健全育成</b>				
☆ 14 子ども・若者の居場所（ユースプラザ）の開設	様々な問題を複合的に抱える子ども・若者とその保護者の課題の早期解決を図るため、相談機能を有する居場所（ユースプラザ）を開設する。	23,800	7,000	16,800

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
☆ 15	こども食堂への補助 子どもたちが抱える課題等の早期発見につなげるため、食事や学習、交流の場等を提供する団体に対し、施設使用料を助成する。	672	672	
16	子ども・若者自立サポート事業の拡充 不登校やひきこもり、ニートなど様々な悩みを抱える概ね15歳～39歳を対象とする「子ども・若者自立サポート事業」について、切れ目のない支援の実現を図るため、実施体制の強化や利用料が無料となる対象者の拡充を行う。 【予算総額：8,415】	1,723	1,723	
学力向上【34頁参照】				
◎ 17	小中学校学習サポーターの設置 さらなる学力向上を図るため、授業の中で継続的な個別指導・支援を行う「専門支援員」及び「支援教育サポーター」を統合して『学習サポーター』に再編する。	121,140		121,140
◎ 18	小中学校業務サポーターの設置 教員の子どもと向き合う時間を確保し、持続可能な学力向上の取組みを推進するため、教員が行う事務の支援を行う『業務サポーター』を小学校30校、中学校14校に配置する。	25,080	5,640	19,440
◎ ☆ 19	小中学校業務改善サポートチームの設置 第4次学力向上3か年計画の重点テーマに位置付ける「学校の業務改善」を図るため、外部の専門家を交えた『業務改善サポートチーム』を設置する。	2,960	2,960	
◎ ☆ 20	SSWアドバイザーの設置 児童・生徒・家庭を福祉の視点からサポートするSSW（スクールソーシャルワーカー）の更なる能力向上やケース対応の体制強化等を図るため、SSWを統括し助言指導を行う『SSWアドバイザー』を設置する。	1,750	140	1,610
◎ 21	小学校スクールカウンセラーの拡充 児童・生徒に対しカウンセリングを行うスクールカウンセラーによる相談体制を強化するため、スクールカウンセラーを1名増員（3名⇒4名）する。 【予算総額 12,975】	3,244	260	2,984
◎ 22	外国人英語指導助手による英語教育の充実 英語教育のさらなる充実を図るため、英語シャワーデーの複数回実施など外国人指導助手を配置する授業回数を拡充する。 【予算総額 66,943】	10,067		10,067



事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ ☆ 23	いのちの教育推進交付金の交付 道徳教育の教科化に向け、「命」を実感できる実習等を行い、道徳性・人権感覚を養うため、全中学校に1校5万円の交付金を交付する。	700		700
<b>学習・生活支援</b>				
◎ 24	子どもの学習・生活支援事業の拡充 子どもの貧困対策として実施している「子どもの学習・生活支援事業」について、新たに北ブロックで2か所を開設するとともに、対象に生活困窮者世帯を加える。 【予算総額：22,477】	6,620	3,310	3,310
◎ 25	ひとり親家庭の子どもの学習・生活支援事業の拡充 ひとり親家庭の貧困対策として実施している「ひとり親家庭の子どもの学習・生活支援事業」について、新たに北ブロックで2か所開設する。 【予算総額：2,557】	1,697	848	849
<b>教育環境の充実</b>				
26	小学校特別教室等のエアコン設置 小学校の教育環境の充実を図るため、特別教室（理科室、家庭科室、図工室、第二音楽室）へのエアコン設置に伴う実施設計を行う。	20,800	15,600	5,200
27	小学校のエレベーター設置 教育環境の改善を図るため、校舎へのエレベーター設置に伴う実施設計を行う。 実施校：3校（庄栄小、畑田小、西小）	15,000	11,200	3,800
28	小中学校屋内運動場の改修 学校施設の環境改善を図るため、老朽化が進む屋内運動場の屋根を改修する。 実施校：3校（天王小、沢池小、平田中）	42,000	31,500	10,500
29	小学校のプール改修 学校施設の環境改善を図るため、白川小学校のプールを改修する。	55,000	41,200	13,800

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
<b>奨学金・就学援助</b>				
30 奨学金「入学支度金」の支給	現状年間3回支給している奨学金制度について、高校生活における費用が必要な時期となる高校入学時の3～4月にまとめて「入学支度金」として支給する方法に変更する。 【予算総額 22,316】	11,200		11,200
31 就学援助「入学準備金」への拡充	保護者等の負担軽減を図るために支給している就学援助の「新入学生用品費」について、入学前の3月に「入学準備金」として支給する方法に改めるとともに、単価拡充（小学校：20,470円⇒40,600円 中学校：23,550円⇒47,400円）を行う。 【予算総額 74,239】	36,222		36,222
<b>中学校給食</b>				
32 中学校給食のあり方検討	中学校給食の今後のあり方について、平成28年度に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、有識者等の意見を聞き、検討を進める。	300		300
<b>図書館</b>				
☆ 33 図書館広域利用の開始	図書館のさらなる利便性の向上を図るため、北摂7市3町間において、貸出サービスが受けられる広域利用を開始する。	804		804
<b>青少年センター</b>				
34 上中条青少年センターの改修	工事（外壁改修・屋上防水）	122,040	91,500	30,540
<b>生涯学習</b>				
◎ 35 生涯学習新情報誌の発行	幅広い年齢層の市民に生涯学習活動の参加を促すため、利用者の視点に立ったジャンル別等の情報を掲載した生涯学習情報誌を発行する。 〈発行時期〉年3回（4月・8月・12月） 〈配布先〉市施設・単位自治会・大学・関連事業所等	2,027	90	1,937
<b>社会教育</b>				
36 公民館のエレベーター設置	公民館施設のバリアフリー化を図るため、エレベーターを設置するとともに、外壁改修・屋上防水工事を行う。 委 託：山手台公民館 工 事：白川公民館	89,906	80,100	9,806

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
スポーツの推進				
◎ 37	ウォーキング講習会の開催 スポーツ推進計画に掲げる「成人のスポーツへの参加機会の充実」や「高齢者スポーツの推進」を図るため、運動習慣の定着や健康づくりにつながるウォーキング講習会を開催する。	108		108
◎ 38	子どものスポーツイベント・教室の開催 スポーツ推進計画に掲げる「スポーツを通じた健やかな子どもの育成」を図るため、子どもの好奇心をひきつけるイベント・教室を開催する。 〔イベント・教室〕 ・ボールゲームフェスタ（ボールを使ってスポーツの楽しさを体験する） ・かけっこ教室（正しい腕や脚の使い方を学ぶ）	478		478
<b>3 いのちを守る ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに ～福祉～</b>				
地域医療・救急医療体制の充実				
◎ 1	小児二次救急医療体制の確保 市内の小児二次救急体制を確保するため、小児二次救急を受け持つ病院に対して報償金を支出する。	25,620		25,620
◎ 2	〔国保特会〕次期「データヘルス計画」「特定健診等実施計画」の策定 次期「データヘルス計画」及び「茨木市特定健診等実施計画」について、平成30年度から次期計画に移行する総合保健福祉計画等の上位計画との整合を図るため、保健事業の実施内容や事業効果等の調査、策定を行う。	4,063	4,063	
◎ ☆ 3	〔国保特会〕糖尿病の重症化予防に向けた医薬連携 データヘルス計画において予防すべき重症化疾患群のひとつである糖尿病の重症化予防を図るため、薬剤師会・医師会と連携し、患者に対する生活指導などを行う『糖尿病性腎症重症化予防事業』を実施する。〔実施期間：H29～H30年度〕	3,044	3,044	
☆ 4	指導救命士の養成 救急業務における教育指導体制を充実し、救急業務全般の質の向上を図るため、指導救命士の養成を行う。	200		200

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
高齢者介護・福祉					
◎ 5	[介護特会] 介護予防・生活 支援サービス事 業（通所型サー ビスB）の拡充	要支援1・2の高齢者等を対象に実施する介護予防・日常生活 支援総合事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業の通所 型サービスについて、地域の多様な主体（コミュニティデイハ ウス）による通所型サービスBを5か所を増設する。（現行3 か所→8か所）【予算総額：335,337】	37,300	32,638	4,662
◎ 6	[介護特会] 介護予防・生活 支援サービス事 業（訪問型サー ビスB）の実施	要支援1・2の高齢者等を対象に実施する介護予防・日常生活 支援総合事業のうち、介護予防・生活支援サービス事業の訪問 型サービスについて、地域の多様な主体（NPO法人等）によ る訪問型サービスBを新たに実施する。 【予算総額：217,583】	1,620	1,417	203
7	[介護特会] 生活支援体制整 備事業の拡充	高齢者の生活支援体制の整備を図るため、新たに3校区を選定 し、地域課題の解決に向けたモデル事業を実施する。（現行1 校区→4校区）【予算総額：12,900】	4,800	3,864	936
◎ 8	[介護特会] 在宅医療・介護 連携シンポジウ ムの開催	市制施行70周年・医師会創立70周年を記念し、地域包括ケアシ ステムの実現に向け、更なる地域住民への在宅医療・介護連携 の普及啓発を図るため、医師会との共催によりシンポジウムを 開催する。	1,497	1,205	292
◎ ☆ 9	[介護特会] 「元気！いばら き体操 ver. 3」 の制作	市制施行70周年を記念し、介護予防の取組みをより一層推進す るため、効果的に介護予防に取り組める市独自の「元気！いばら き体操」について、「栄養改善」「うつ・閉じこもり予防」に 関するプログラムを盛り込んだバージョン3を制作する。	3,845	3,363	482

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
☆ 10 高齢者詐欺被害等防止対策機器の設置 【30頁参照】	高齢者を狙った還付金詐欺等の特殊詐欺被害額が急増していることから、被害の未然防止、被害件数の減少を図るため、詐欺被害等防止対策機器を市民に貸与する。	1,632		1,632
◎ 11 いきいき交流広場の増設	地域の集会場等を活用し、教育、娯楽等の活動を通じて高齢者の交流促進及び実施主体の老人クラブ等の育成を図るため、新たに5か所を開設する。(現行16か所→21か所) 【予算総額：19,279】	5,096		5,096
12 地域密着型介護施設の整備補助	国及び大阪府の補助金を活用し、地域密着型介護施設の整備や開設準備にかかる費用を補助する。	53,325	53,325	
<b>障害者(児)福祉</b>				
◎ 13 かしの木園における自立訓練事業の実施	障害者就労支援体系の円滑化を図るため、障害者就労支援センターかしの木園で新たに自立訓練(生活訓練)事業を実施する。【予算総額：25,691】	4,318		4,318
◎ 14 日常生活用具給付種目の拡充	重度障害者の日常生活支援の充実を図るため、給付種目を拡充(43品目→46品目)する。【予算総額：66,078】	1,216	499	717
◎ 15 地域活動支援センターⅢ型事業所の増設	障害者の創作的活動または生産活動の機会の充実を図るため、地域活動支援センターⅢ型事業所を新たに3か所開設する。 《H28：4か所→H29：7か所》	30,600	15,000	15,600
◎ 16 障害年金相談業務の充実	制度が複雑な障害年金にかかる相談業務を充実し、市民サービスの向上を図るため、社会保険労務士による予約相談を実施する。	913	913	
<b>地域福祉・生活福祉</b>				
17 第2次総合保健福祉計画の策定	保健・医療・福祉の各種施策等を総合的に推進するため、審議会及び分科会を開催し、第2次総合保健福祉計画を策定する。 (計画期間：平成30年度～平成35年度)	17,577		17,577

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
18 地域担当業務 (福祉)の委託	効率的・効果的に地域の連携促進を図り、日常的な地域との関係づくりを進めるため、地域担当業務(福祉)を社会福祉協議会に委託する。	11,742		11,742	
19 ぶらっとホーム 事業の拡充	地域福祉の常設型拠点施設として、地区福祉委員会が運営する「ぶらっとホーム事業」について、新たに3か所を整備する。 (現行7か所→10か所) 【予算総額：9,000】	4,800	3,000	1,800	
20 臨時福祉給付金 (経済対策分) の支給	消費税率の改定に伴う低所得者層の負担増への対応を図るため、臨時福祉給付金を引続き支給する。	678,225	678,225		
<b>国民健康保険</b>					
21 [国保特会] 国民健康保険オン ラインシステムの 改修	平成30年度の国保事業の広域化等への対応にあわせ、パッケージシステムの導入やデータ移行等を行う。	351,313		351,313	
<b>4 活気あふれる 都市活力があふれる心豊かで快適なまちに ~経済~</b>					
<b>商工業振興</b>					
◎ ☆ 1	創業者支援セミナーへの補助	ライフステージに応じた「起業に触れる機会」を提供し、起業への意識の醸成や実現に向けたサポートを行うため、商工会議所等で構成する創業支援ネットワークが行う各種セミナーに対し補助金を支給する。	893		893
◎ 2	中小企業人材育成 支援事業の拡 充	市内企業の海外への事業展開を支援するため、中小企業人材育成支援事業の補助対象機関に、海外展開支援機関を加えるとともに、海外消費者向けの電子商取引に関するセミナーを開催する。	853		853

事業	内容等	事業費 a			
		特定財源 b	一般財源 c=a-b		
☆ 3	働きやすい職場づくりに取り組む事業者の支援	ワークライフバランスや仕事と家庭の両立支援への取組を推進するため、働きやすい職場づくりに取り組む事業者に認定証を交付する。	34		34
◎☆ 4	農商連携交流会の開催	地元産農産物の販売機会の拡充や流通の促進を図り、新たな連携を創出するため、農業者と商業者等をつなぐ交流会を開催する。	22		22
歴史・文化振興					
◎☆ 5	(仮称) いばらき文学賞の創設【35頁参照】	ノーベル文学賞作家である川端康成ゆかりのまちをPRするため、「(仮称) いばらき文学賞」を創設し、全国から小説を公募する。 〈短編小説の公募〉 ・青春部門(仮称)：10代対象 ・いばらき部門(仮称) 〈公募時期〉平成29年6月～12月	1,058		1,058
◎☆ 6	こども芸術・文化講座(茨木こども芸大)の実施	芸術に触れる機会を創出し、次代の芸術鑑賞者や担い手を育成するため、こども(主に小学生)を対象とした参加型・体験型の芸術・文化講座(ワークショップ)を実施する。 〈テーマ〉絵画、造形、デザイン、音楽、映像等 〈定員〉1回あたり20人程度(6講座を予定) 〈講師〉茨木ゆかりのアーティスト等	231		231
◎☆ 7	芸術を活用したまちづくりの推進	芸術(アート)を活用したまちづくりを推進するため、住民交流やまちの課題解決に寄与する芸術家の取組みに対する負担金を新設する。	3,000		3,000
◎☆ 8	外国籍住民における生活状況把握調査の実施	在住外国人への適切な支援及び交流活動の促進を図ることにより、生活しやすい環境を整備するため、生活におけるニーズや課題等を把握するためのアンケート調査を行う。	1,112		1,112
まちの魅力発信・活性化					
☆ 9	DIO「リノベのいばらき」プロジェクトの施設整備・運営【36頁参照】	活動人口を増やすための取組として実施するDIO「リノベのいばらき」プロジェクトにおいて、使われていない施設を「リノベーション(DIY)工房」として整備し、ワークショップやDIY体験講座等を実施する。	25,000	12,500	12,500

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
☆ 10	ブランドメッセージ（ロゴ）を活用した魅力発信 まちづくりへの共感と機運の醸成を図るため、ブランドメッセージ（ロゴ）をデザインしたフラッグを駅周辺に設置するとともに、Instagram等を利用し、ブランドメッセージ（ロゴ）にちなんだ写真や動画を募集する。	16,835	645	16,190
11	市制施行70周年啓発用懸垂幕等の作成 市制施行70周年の周知を図るため、懸垂幕（3枚）、横断幕（21枚）を作成するとともに、オリジナル年賀はがきの作成・販売を行う。	4,366	2,600	1,766
<b>農林業振興</b>				
◎ 12	里山ふれあいオートキャンプ場の開設 里山や自然に対する知識・理解を深めるとともに、山間部の魅力向上を図るため、旧北辰中学校跡地に暫定的にオートキャンプ場を開設する。 〈利用期間〉平成29年5月～11月、平成30年3月の土・日・祝日 ※夏休み、春休みは毎日開設 〈区画数〉10区画 〈実費徴収金〉300円/区画	6,295	30	6,265
◎ 13	集落営農組織への農業用機械の貸付 遊休農地の解消及び農業者の負担軽減を図るため、集落営農組織に対して農業機械の貸付を行う。 〈対象〉集落営農組織 〈貸付期間〉5年 〈貸付料〉1年につき100分の6	3,430	205	3,225
◎ 14	農村総合整備事業 委託（測量設計）	20,000	13,000	7,000
<b>5 いざ、に備える ともに備え命と暮らしを守るまちに ～安全～</b>				
<b>災害対策</b>				
◎ 1	市内全域防災訓練等の実施 自助共助の意識の高揚、地域防災力の強化等を図る防災訓練において、全避難所を開設し、防災体験プログラムを実施するとともに、地震災害時における市の円滑な業務継続等を図るため、市職員による対策部ごとの防災訓練を実施する。	7,044		7,044



事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ ☆ 2	指定避難所運営体制の強化 地域住民が主体となった避難所運営を促進するため、地域団体等と共に、各地区のひな形となる避難所運営マニュアルを作成する。	3,000		3,000
☆ 3	指定避難所の誘導標識の再整備【37頁参照】 緊急時に安全な場所への円滑な避難誘導を図るため、指定避難所誘導標識を様々な人に分かりやすいJIS規格で定める災害種別記号に再整備する。	9,396		9,396
◎ 4	災害用備蓄品の更新・増強 災害時における備蓄力の強化を図るため、府策定の新基準に基づき、災害用備蓄品のアルファ化米・毛布を増強する。また、備蓄量の増加に対応するため、備蓄用保管庫を増設する。 【予算総額：17,317】	12,586		12,586
◎ 5	自主防災組織事業補助金の拡充 自主防災組織の防災活動の促進を図り、防災資機材の購入を促進するため、自主防災組織事業への補助金を拡充する。 【予算総額：4,200】 ＜対象＞自主防災組織 ＜内容＞防災資機材設置経費 ＜補助額＞100,000円（上限）	1,200		1,200
☆ 6	災害時優先特設公衆電話の設置 大規模災害発生時における通信手段を確保するため、各避難所に設置するための特設公衆電話の電話機等を購入する。	1,085		1,085
7	消防車両・機器整備事業 救急車2台、高度救命用資機材2組(救急車用)、人員輸送車1台、小型動力ポンプ付積車1台、ヘリコプター映像伝送装置用タブレット2台、電磁波探査装置1台、空気呼吸器16基、空気ボンベ24本、簡易無線機20台	127,374	127,326	48
8	ため池ハザードマップの作成 地域の防災意識向上や被災時の避難行動への活用を図るため、市街地のため池周辺の安全を確保するため池のハザードマップを作成する。 ＜実施箇所＞松沢池、錨ヶ池、鳥羽新池	7,500	7,500	

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
<b>防犯</b>				
◎ ☆ 9	青色防犯パトロール車の改良 防犯体制を強化し街頭犯罪の防止を図るため、青色防犯パトロール車について防犯効果を高める白・黒色に塗装を変更する。	866		866
<b>耐震等対策</b>				
10	市営住宅営繕事業 委託（詳細設計） 道祖本第1～3棟、沢良宜第4棟 工事（耐震補強等） 沢良宜第2・3棟、総持寺第3・4棟	292,000	291,910	90
11	橋梁新設改良事業 ・あけぼの橋 工事 ・上河原橋 工事 ・宮之前東通学橋 工事 ・車作大橋 委託 ・九鬼谷橋 委託	170,000	162,200	7,800
12	[下水道等事業会計] 下水道施設の耐震対策 [下水管、人孔耐震化等] 工事 [大池ポンプ場耐震化] 工事	783,200	783,140	60
<b>消費生活</b>				
☆ 13	中学生への消費者教育の推進 中学生の消費生活に関する理解の促進を図るため、家庭科教諭と連携し、消費生活に関するクイズ等を活用した参加型学習を実施する。	698	698	
<b>6 議論を重んじる 対話重視で公平公正な市政運営 ～対話～</b>				
<b>対話重視の市政運営</b>				
◎ 1	確かな未来ミーティングの推進 市民との対話を重視したまちづくりを進めるため、市民と市の協働により、市政における課題解決に向けて対話・検討を行う「確かな未来ミーティング」を推進する。	297		297

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
◎ ☆ 2	地域自治組織とのタウンミーティングの実施 地域の声やニーズを把握し、市民との対話を重視したまちづくりを進めるため、地域協議会等の地域自治組織とのタウンミーティングを実施する。	56		56
若い世代の知恵が活きるまちづくり				
3	いばらき・大学連携事業の拡充 学生の力をいかしたまちづくりを促進するため、大学生が行う地域活動等に対する補助金について、補助率の見直し等を行うとともに、大学が行う地域活性化等に資する事業において、市制施行70周年を共に盛り上げる取組に対して補助を行う。 【予算総額：6,000】 ①大学生向け 〈補助率〉5/5 ②大学向け 〈内容〉 ・参加者5,000人以上の行事（補助率1/5又は最大2,000） ・参加者1,000人～4,999人の行事（補助率1/5又は最大500） ・参加者500人～999人の行事（補助率1/5又は最大250）	5,100		5,100
公平公正な市政運営				
4	滞納管理システムの導入 適正な滞納者データの管理や事務の標準化・効率化を図り、より効果的な滞納整理を推進するため、滞納管理システムを導入する。	8,470		8,470
☆ 5	適正な徴収事務の推進に向けた弁護士（任期付職員）の採用 適正な徴収事務の推進とさらなる収納率の向上を図るため、公債権と私債権をあわせた滞納管理業務を行う弁護士（任期付職員）を採用する。	2,726		2,726
公共施設等マネジメント				
☆ 6	公共施設等マネジメントの推進 公共施設等マネジメント基本方針の取組を推進するため、今後のあり方を検討するための基礎資料となる各施設の現状把握や課題整理等を行う。	6,061		6,061
地域との協働				
☆ 7	地域課題解決モデルの推進 地域における繋がりをより強固にし、地域自治の醸成を図るため、地域が抱える課題について、地域自らが解決できる仕組みの構築に向けて、地域の課題や強みについて調査業務を委託する。	500		500

事業	内容等	事業費 a		
		特定財源 b	一般財源 c=a-b	
8 地域担当業務の委託	地域に共通する福祉の観点からアプローチすることにより、地域の状況をこれまで以上に把握するとともに、地域の課題解決を図るなどの地域自治の推進に向けて、地域担当業務を社会福祉協議会に委託する。	2,793		2,793
<b>地域施設の充実</b>				
9 コミュニティセンターのエレベーター設置	利用者の利便性向上を図るため、東奈良コミュニティセンターにエレベーターを設置する。	73,570	65,400	8,170
<b>行財政運営</b>				
10 人事制度のあり方の検討	持続可能な組織をめざし、職員のやる気を高める人事制度を構築するため、市職員によるプロジェクトチームを編成し、給与制度等のあり方について検討する。	500		500
11 情報システム全体最適化の推進	情報システムの全体最適化に向けた基幹系業務システムに係る経費の適正化・業務の標準化を図るため、各システムのオープン化・再構築に必要な共通基盤を構築する。	87,432		87,432

[ 継続費・債務負担行為 ]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費
継続費		
橋梁新設改良事業（あけぼの橋）	平成29年度～平成30年度継続事業 [総額] 120,000 [年割額] (H29) 48,000 (H30) 72,000	120,000
債務負担行為		
私立保育所等建設補助事業	私立保育所等建設補助事業について、債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成30年度 [限度額] 122,646	122,646
元茨木川緑地樹木等施設更新検討事業	元茨木川緑地樹木等施設更新検討事業について、債務負担行為の期間及び限度額を設定する。 [期間] 平成30年度 [限度額] 6,480	6,480

[ 特別会計 ]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費 a	特定財源 b	一般財源 c=a-b	
<b>特別会計</b>					
財産区特別会計	対前年度比較(当初) [歳入] 繰越金 5,152,634(対前年度 [歳出] 地方振興事業費 5,151,578(対前年度 一般会計繰出金 228(大字清水財産区線下補償料)	△95,003 1.8%減 △94,960 1.8%減 △95,005 1.8%減	5,155,132	5,155,132	0
国民健康保険事業特別会計	対前年度比較(6月補正後) [歳入] 保険料 6,409,228(対前年度 一般会計繰入金 3,103,086(対前年度 [歳出] 保険給付費 20,686,883(対前年度	209,044 0.6%増 △7,995 0.1%減 134,932 4.5%増 △130,005 0.6%減	34,659,334	31,486,521	3,172,813
後期高齢者医療事業特別会計	対前年度比較(6月補正後) [歳入] 保険料 3,029,652(対前年度 一般会計繰入金 593,867(対前年度 [歳出] 広域連合納付金 3,509,410(対前年度	272,379 8.0%増 218,992 7.8%増 37,619 6.8%増 250,907 7.7%増	3,666,225	3,062,358	603,867
介護保険事業特別会計	対前年度比較(6月補正後) [歳入] 保険料 4,177,832(対前年度 国庫支出金 3,707,359(対前年度 支払基金交付金 4,866,985(対前年度 一般会計繰入金 2,677,860(対前年度 [歳出] 保険給付費 16,594,607(対前年度 地域支援事業費 1,133,377(対前年度	1,279,498 7.5%増 269,342 6.9%増 247,159 7.1%増 342,030 7.6%増 190,220 7.6%増 880,122 5.6%増 362,178 47.0%増	18,242,991	15,465,131	2,777,860

[ 公営企業会計 ]

(単位：千円)

事業	内容等	事業費
<b>公営企業会計</b>		
下水道等事業会計	対前年度比較(当初) ・収益の支出 6,409,491 ・資本の支出 5,466,292 1.排水人口 : 280,555 人 2.汚水処理戸数 : 122,613 戸 3.排水面積 : 2,709 ha [参考(一般会計)] 下水道等事業会計繰出金 2,572,702 (△186,881 6.8%減)	238,824 2.1%増 11,875,783
水道事業会計	対前年度比較(当初) ・収益の支出 5,302,610 ・資本の支出 3,875,469(設備改良費 1,754,713) [総給水量 30,284,900m <sup>3</sup> ] [参考(一般会計)] 水道事業会計繰出金 17,402 (△27,161 60.9%減)	596,626 7.0%増 9,178,079

## JR新駅の開業について

### 【概要】

東海道本線 摂津富田・茨木間に建設中である(仮称)JR 総持寺駅の平成 30 年春開業を記念し、JR 西日本との共同開催にて行う。

### 【式典内容(予定)】

日時(予定) 平成30年3月(駅開業日)  
(式典) 10:00~11:00

実施場所 : (仮称)JR 総持寺駅前広場  
(雨天決行予定)

主催 : 茨木市 / 西日本旅客鉄道株式会社  
参加者人数: 約150名

アトラクション : 市消防署の音楽隊による演奏  
(予定) 三島中学校の吹奏部による演奏  
庄栄幼稚園(4歳児)による合唱ほか

### 【位置図】



外観 (イメージパース)



## 茨木松ヶ本線の開通について

### 【概要】

茨木松ヶ本線の平成 30 年春開通を記念し、竣工記念式典を行う。

#### 《路線概要》

所在地: 茨木市小川町~松ヶ本町  
延長: L=1.1km(茨木市施行区間)  
内 ボックス区間 約 100m  
U型擁壁区間 約 150m  
幅員等: W=16m(都市計画幅員)、  
車線数2

### 【式典内容(予定)】

日時(予定) 平成30年3月下旬  
(式典) 10:00~

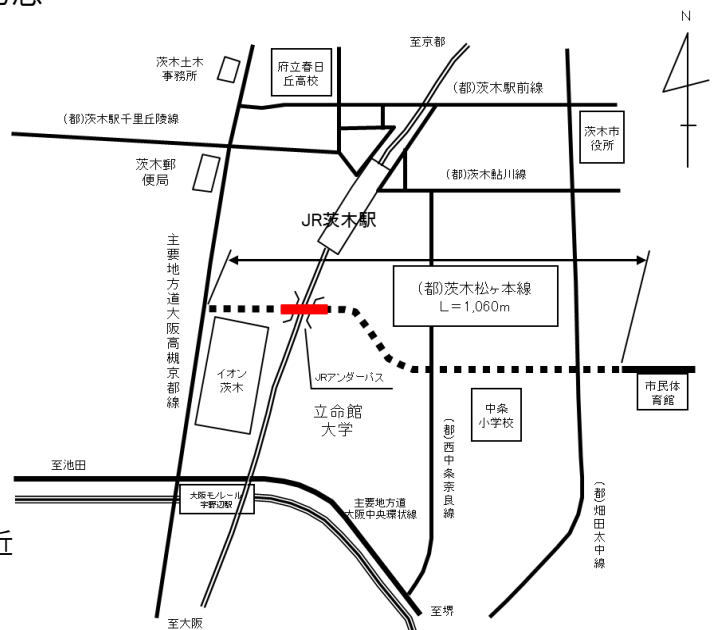
実施場所 : 松ヶ本線アンダーパス出入口付近

主催 : 茨木市

参加者人数: 約200名

アトラクション : テープカット(車道部歩き初め)  
(予定) 信号機点灯式(車両供用開始)ほか

### 【位置図】



# 高齢者の安全・安心確保事業

## 自転車用ヘルメットの配布

### ■目的

自転車での交通事故において、転倒時の頭部損傷による死亡率が高い高齢者に対して自転車用ヘルメットを配布することで、ヘルメット着用の普及促進を図る。



<ヘルメットイメージ>

### ■対象者

- ・市内に住む高齢者

### ■内容

- ・平成29年度に開催する交通安全イベントの参加者に配布
- ・配布個数 125個

### ■経費

- ・消耗品費 8,000円×125個=1,000

### ■その他

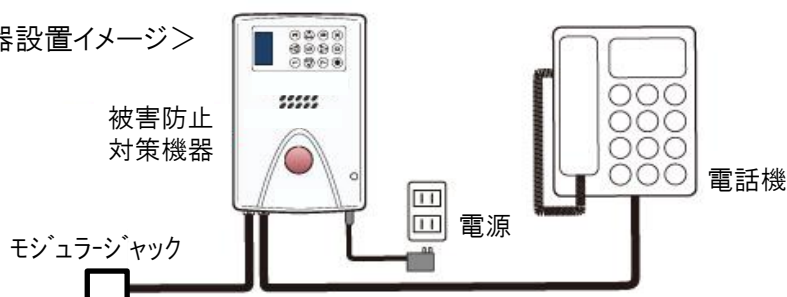
- ・府自転車条例(平成28年4月施行)より、65歳以上はヘルメット等の被害軽減を図る器具を使用する努力義務有
- ・モニター制度として実施

## 詐欺被害等防止対策機器の設置

### ■目的

高齢者を狙った還付金詐欺等の特殊詐欺が急増していることから、被害の未然防止、被害件数の減少をめざして、詐欺被害等防止対策機器を市民に貸与する。

<機器設置イメージ>



### ■対象者

- ・市内に住む単身高齢者及び高齢者世帯(昼間独居、昼間高齢者世帯を含む)
- ・その他市長が必要と認める者

### ■機器の性能

- ・設置者宅に電話をかけてきた者に警告メッセージ※を自動で流す  
※「犯罪被害防止のため、会話内容が自動録音されます」
- ・受話器応答時から自動録音(60時間分の会話を上書きしながら保存)

### ■経費

- ・消耗品費(機器) 10,368円×100台=1,037
- ・委託料(機器設置、効果検証調査) 595 合計 1,632

### ■その他

- ・期間限定の緊急措置として実施
- ・利用者の自己負担なし



## 新名神開通イベントの開催

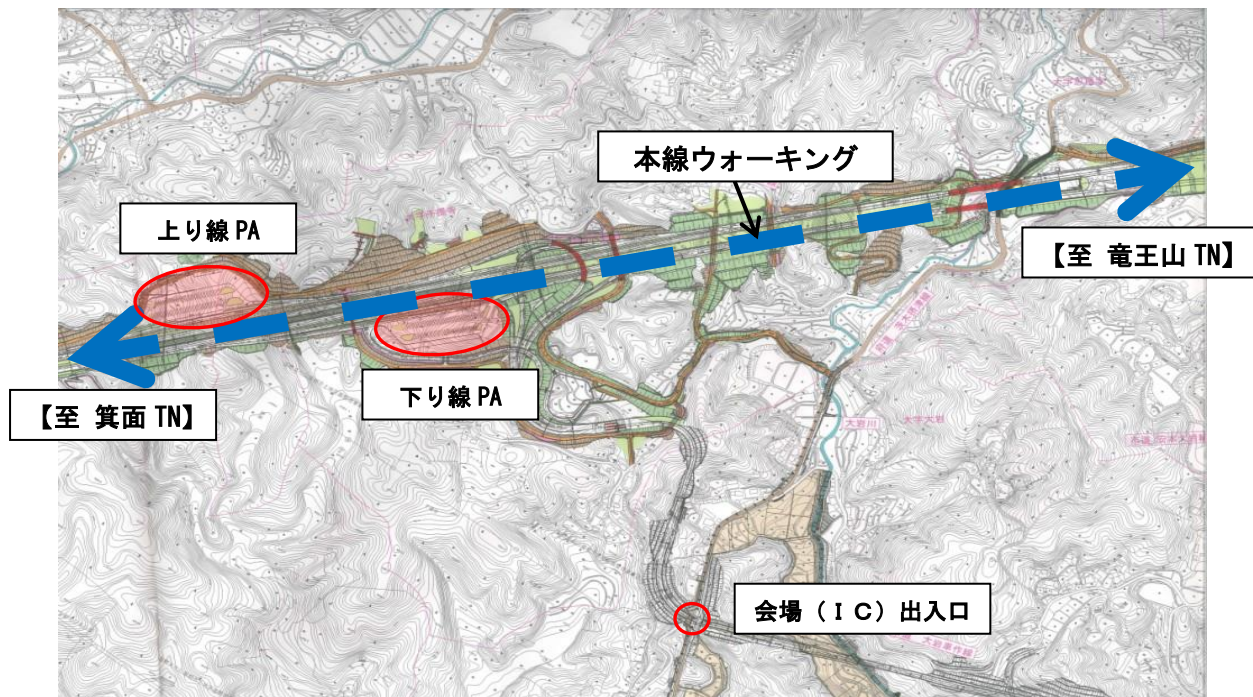
### 【概要】

平成 29 年秋頃に高槻～川西間において部分開通予定の新名神高速道路を活用し、本市北部地域の自然や歴史等の魅力を体感してもらい、来訪者の増加や交流促進につなげるとともに、将来の地域づくりを推進するため、新名神開通前に本市域の高速道路本線のウォーキングやパーキングエリアでの北部地域の魅力発信イベントを実施する。



【ウォーキングイメージ】  
(府道茨木亀岡線付替道路  
開通記念ウォーキング)

### 【位置図】



### 【イベント内容(予定)】

#### ○日 時

平成 29 年秋頃(新名神高速道路供用開始の約1か月前の休日1日) 10:00～16:00

#### ○本線ウォーキング(約5km)

下り線 PA→竜王山トンネル東坑口(折り返し)→箕面トンネル西坑口(折り返し)→下り線 PA

#### ○北部地域の魅力発信イベント

パネル展示／物産販売・飲食販売／その他企画展等

# 多世代近居・同居支援事業

## 1 目的

多世代の近居・同居を支援することによって、それぞれの世代が支えあって暮らせるまちづくりを進め、子育てや介護など、各世代が抱える不安の軽減を図るとともに、本市への定住促進を図る。

## 2 概要

【内 容】 市内で親もしくは子、孫と同居・近居するために、「親世帯」や「子育て世帯」、「40歳未満の夫婦世帯」のいずれかが転入し、住宅を取得または持ち家をリフォームするための費用を補助する。

【対 象】 子育て世帯：義務教育修了前の子どもがいる世帯

夫婦世帯：夫婦とも40歳未満の夫婦世帯

親世帯：子のいずれかの親や祖父母

【補助額】 上限 20 万円

※交付決定後は3年間取得またはリフォームした住宅に住むこと。

【予算額】 1,500万円(@20万円×75件)

## 3 狙い・効果

(1) 同居・近居による子育てや介護における支え合い

親世代、子世代が支えあい、  
それぞれがメリットを得られる

(2) ファミリー世代の定住促進(転入促進、転出抑制)

転居先選択の際のインセンティブ

定住促進と  
多世代が支えあって暮らせる  
まちづくり



## 子育て世代包括支援事業(母子保健型利用者支援事業)

### 【事業の目的】

子育て支援総合センター(基本型利用者支援事業)と連携し、妊娠期から子育て期にわたり、母子保健サービスと子育て支援サービスを切れ目なくきめ細やかに行うことにより、次代の社会を担う子どもを健やかに生み育てることができる体制を構築することを目的とする。

### 【事業の概要】

#### ■対象者

○妊産婦及び乳幼児並びにその保護者

#### ■実施場所

○茨木市こども健康センター

#### ■支援体制

○専任保健師(非常勤嘱託員)を配置し、母子保健や育児に関する相談に対応

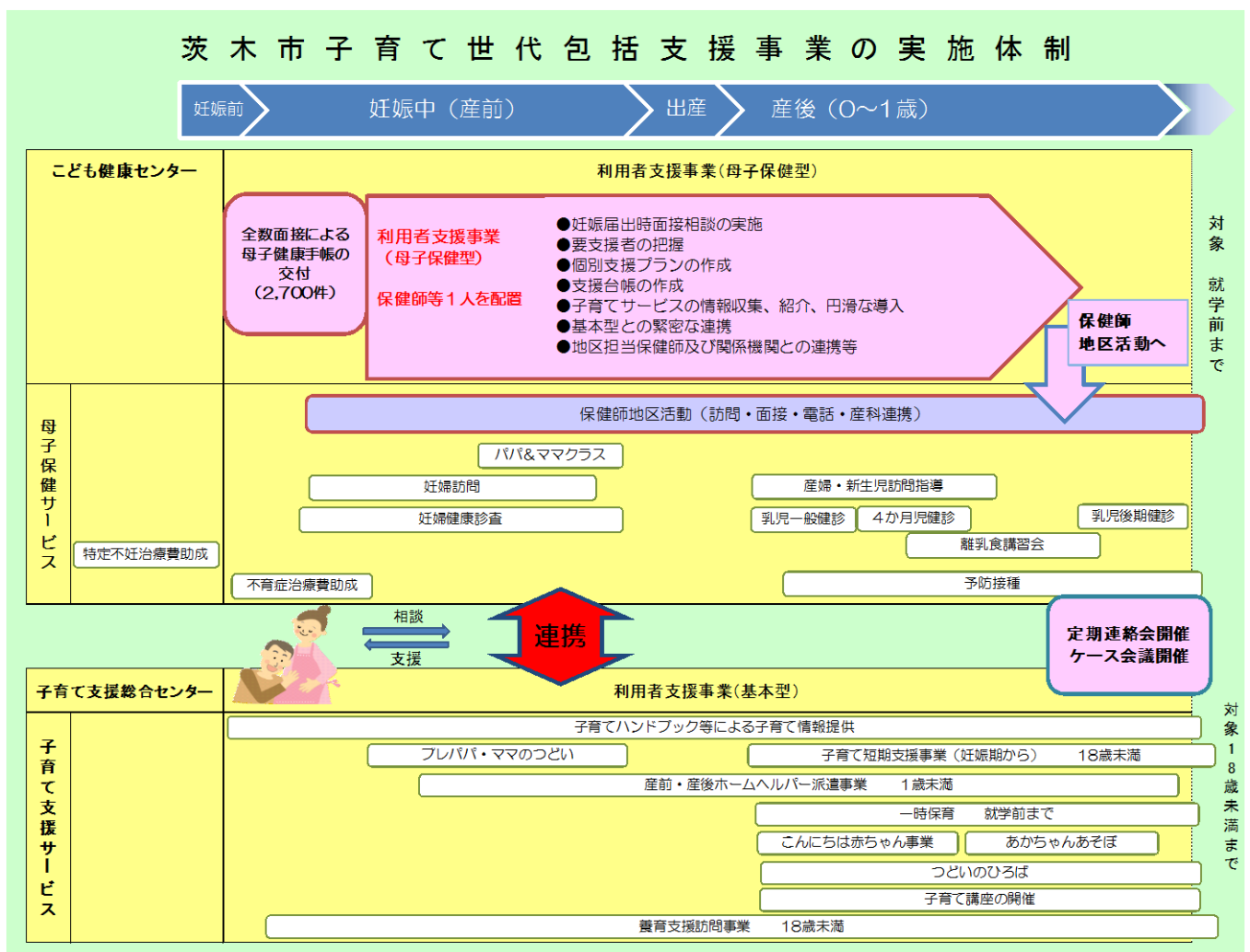
○妊娠届出時に得た情報を基に支援台帳を作成し、妊産婦の情報を継続的に把握

○個別支援プランを作成

○ニーズを踏まえた子育てサービスの紹介・円滑な導入

○子育て支援総合センター(基本型利用者支援事業)と緊密に連携した妊娠・出産・子育て相談窓口

○地区担当保健師、地域の関係機関との連携





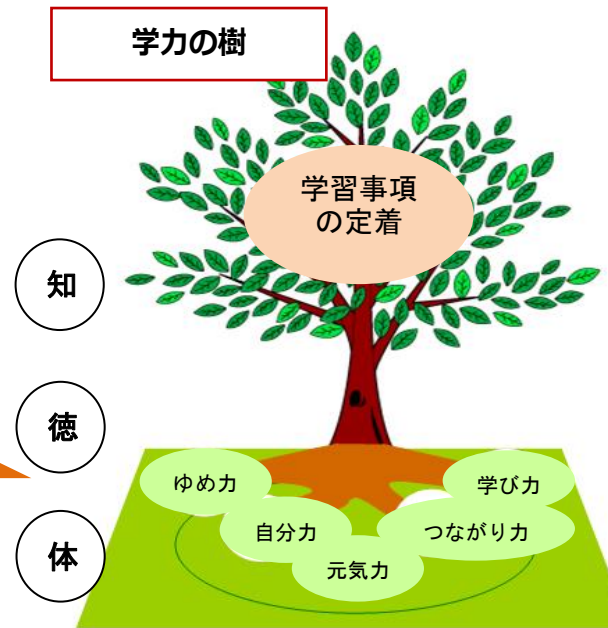
# 第4次3か年計画 茨木っ子グローイングアッププラン

～一人も見捨てへん教育～

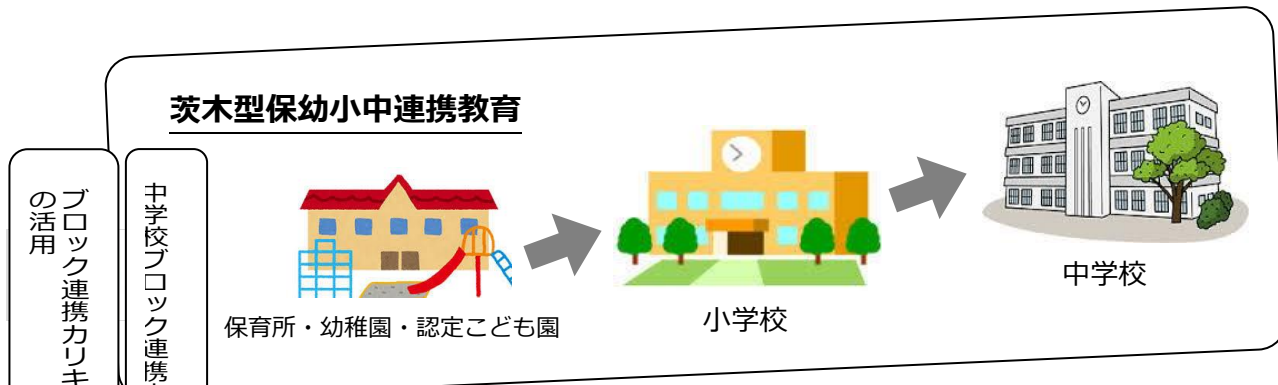
これまでのプランの成果を継承し、事業の選択と集中による教育内容の充実を図るとともに、教員が子どもと向き合う時間の確保と充実を進め、持続可能な施策に取り組みます。



## 学力の樹

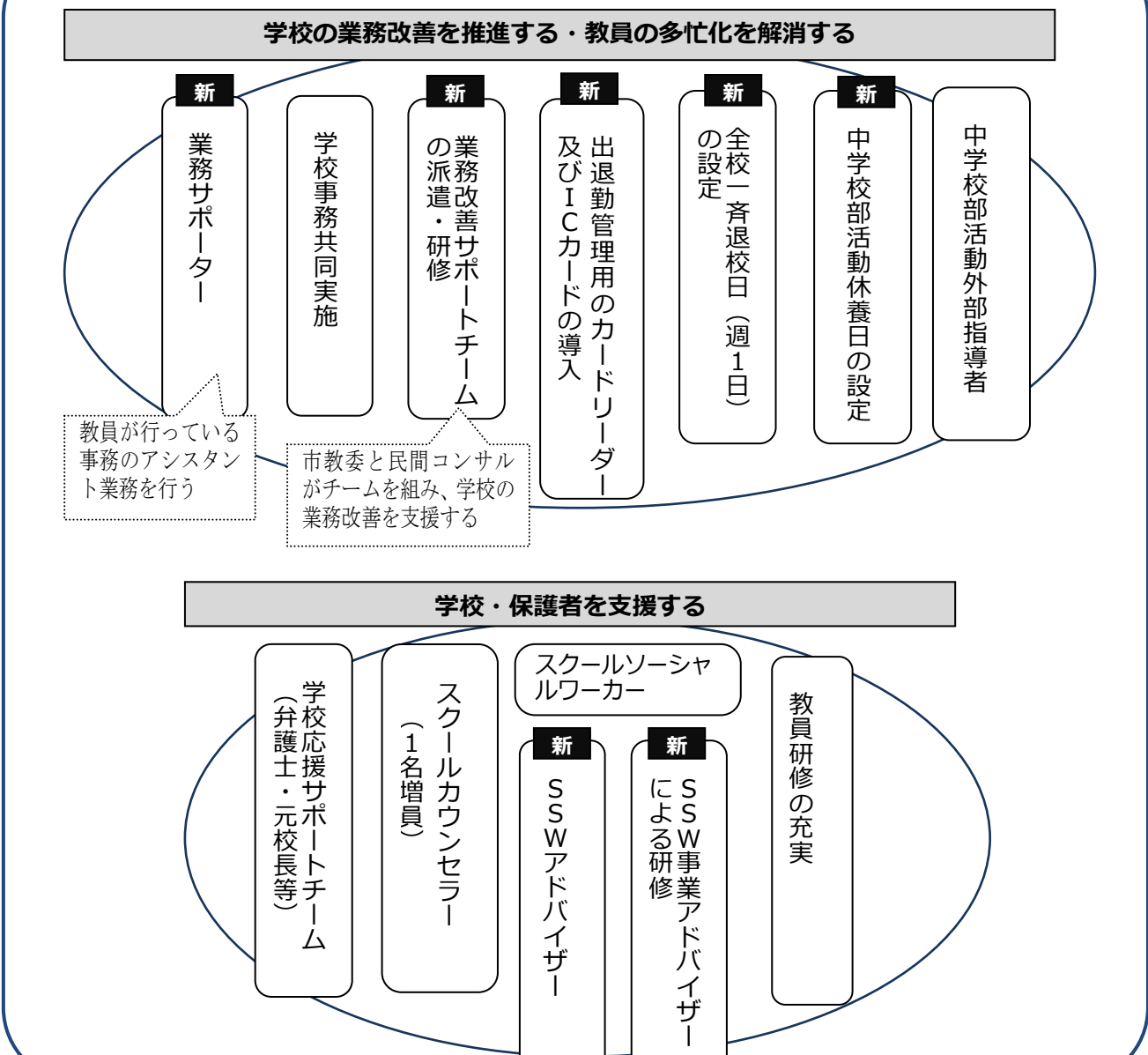
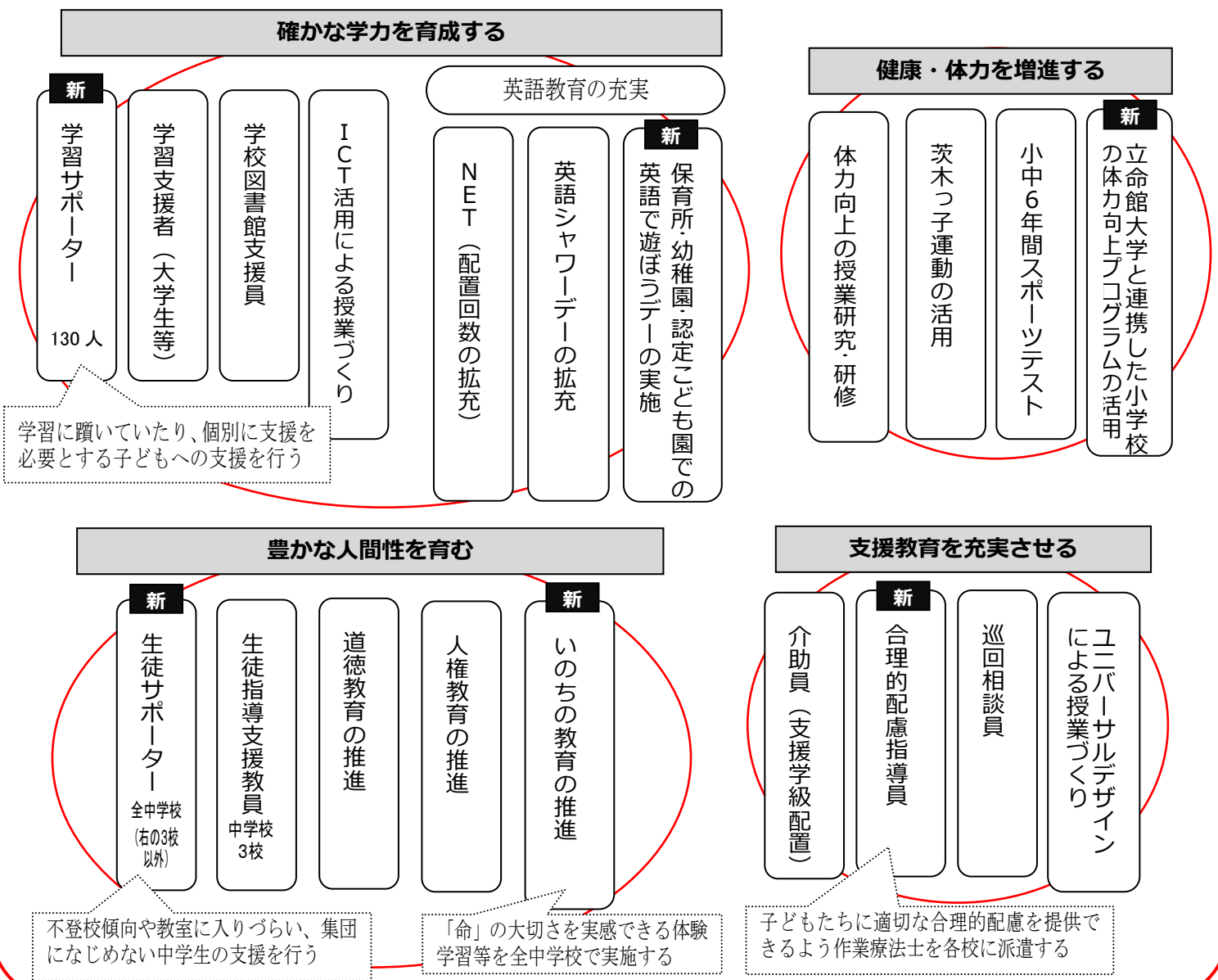


「学力の樹」は、本市の子どもたちに育成したい「知」「徳」「体」を「木の成長」としてイメージしています。



### 教育内容の充実に向けた事業の選択と集中

### 教員が子どもと向き合う時間の確保と充実



# (仮称)いばらき文学賞について

## 1 概要

ノーベル文学賞作家川端康成ゆかりのまちをPRするため、全国から短編小説を公募し、受賞作を短編集として書店で販売する。

## 2 目的

- ①全国に作品を公募することで、茨木市と川端康成の周知を図る。
- ②「文化かおるまち」をPRすることで、茨木市のイメージアップにつなげる。
- ③新しい才能の発掘と、「未来の文豪の育成」を図る。
- ④若年層が自己表現できる場を提供し、文学への興味を持ってもらう。

## 3 事業内容

### (1)短編小説の公募

- ①いばらき部門：茨木市が舞台または茨木市に関係する人物・モノを登場させる。

応募資格 一般

規定 A4版 400字詰 30枚程度。

- ②青春部門：内容自由。

応募資格 川端康成が学生時代を茨木で過ごしたことにちなみ、10代限定。

規定 A4版 400字詰 30枚程度。

(備考)賞：①大賞 50万円(予定)ほか、②大賞 10万円(予定)(図書カード)ほか

### (2)受賞作の出版

出版社と提携し、全国の書店で受賞作を短編集として販売する。

## 4 スケジュール(案)

平成 29 年度

6月～12月 公募

1月～3月 予備審査

平成 30 年度

4月～7月 最終審査

8月 表彰式

12月 出版

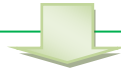


# Do It Ourselves「リベのいばらき」プロジェクトについて

## 1 平成 29 年度の事業内容

### ①工場のリノベーション

- 空家や空き店舗等の既存施設を活用、改修工事を行い DIY 工房としてリノベーション。
- 工場のリノベーションには、参加型ワークショップも実施し、壁面塗装、壁紙、建具など参加者自身の手で DIY。



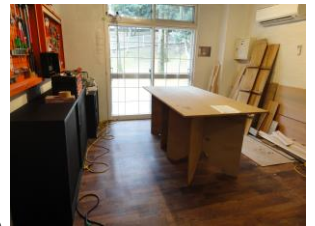
既存施設をリノベーションして DIY 工房として運営

### ②工場の運営

- DIY 講座やワークショップを開催し、活動の仲間作りと DIY 参加者の裾野を拡大。
- 【ワークショップ・講座等】「壁紙・壁面塗装ワークショップ」、「100 均 DIY」など

経費(委託費) 25,000 千円

- (内容)・調査設計、内装デザイン・プロデュース、改修工事
- ・プロモーション展開(ツール・サインデザイン、プレスリリース等)
  - ・リノベーション(DIY)事業運営 等



箕面粟生団地内『DIY-COBO』(UR 都市機構)

(参考)平成 30 年度以降の事業内容(案)

- 「空家改修ワークショップ」、「大学生 DIY シェアハウス企画」、
- 「空き室リノベーションワークショップ (市営住宅、UR 等)」

## 2 めざすところ

活動人口の増加

+ 地域・社会問題に対する DIY (自分たちの手で行う) 的アプローチ

### ①活動人口の増加

社会活動、地域活動の参加割合の低い 20 歳代、30 歳代をターゲットに、「楽しく」感じることを「きっかけ」として提供することで、さまざまな活動への参加を高める。

(Step 1) DIY 工房での講座・ワークショップにより、楽しく興味のある分野でづくり、仲間作り。

(Step 2) 空家改修ワークショップなど、活動を「まちづくり」にも広げていく。

(Step 3) Step 1 で参加への裾野を広げ、Step 2 により「まちづくり活動」へ参加する経験を積むことで、その中から、自主的に活動する人(グループ)が生まれる。(ことを期待)

### ②地域・社会問題に対するアプローチの一つ (※平成 30 年度以降)

- ・増加する空家、空室に対し、解決手法の一つとして、既存住宅の DIY によるリノベーションを実践する。



国交省発行の DIY 推奨冊子



UR 発行の DIY 推奨冊子



# 指定避難所の誘導標識の再整備

## 事業内容

緊急時に円滑な避難誘導を図り、迅速に安全な場所に避難できるよう、国際的標準規格であるJIS規格を用いたシールに貼り替える等の整備を行う。

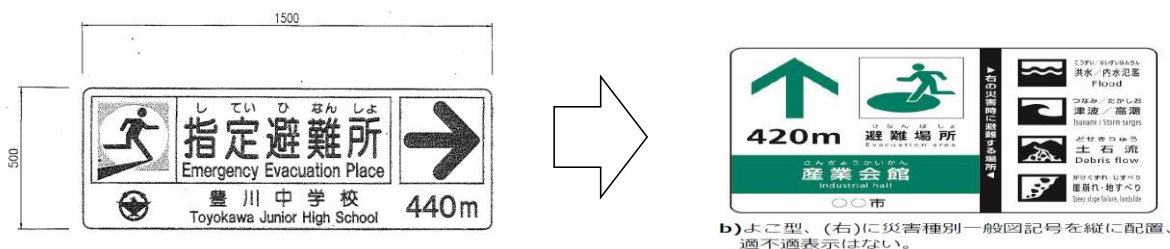
## 効果

- ・標準化されたピクトグラムを用いることで、誰もが緊急時にすばやく安全な場所に避難することが可能になる。
- ・各避難場所がどの災害に有効か一目でわかるようになる。

## 整備による前後比較

### ①指定避難所誘導標識(150か所)【平成29年度～31年度事業】

避難所へ誘導するため、市内指定避難所1避難所につき周辺2か所に設置している誘導標識のピクトグラムを修正・追加



### ②指定避難所表示看板(75か所)【平成32年度事業】

指定避難所入り口などに設置されている開設案内看板に新設の案内看板を追加



### ③指定避難所案内看板(75か所)【平成33年度事業】

指定避難所を案内(敷地内に設置)する看板のピクトグラムを修正



### ④一時避難地看板(14か所)【平成33年度事業】

公園が一時避難地であることを案内する看板のピクトグラムを修正



# 平成29年度市制施行70周年記念(プレ及び記念)事業

## 基本方針

市制を施行して70年の節目を迎えるにあたり、これまで先人が築き、今日の姿へと発展してきた「ふるさと茨木」を知り、感じることで、市民の皆さまのまちへの「誇りと愛着」を高めるとともに70周年の意義と喜びを市民の皆さまと分かちあうこと、さらには、多くの人が本市の魅力を知り、興味を持つことで、わがまち茨木の「確かな未来」を目指す。

そのために、70周年記念事業が市民参画型のシティプロモーション推進、ひいては第5次茨木市総合計画に掲げる施策の実現につながるよう企画・運営し、実施する。

### 3つの視点

多くの人に「茨木の魅力」を感じていただき、「まちに関わる人」のすそ野を広げる！

魅力的な活動を応援し、“まちでがんばる人”をもっと増やす！

70周年を契機に、市内外に茨木の魅力のアピール！

市民参画で新たな魅力づくり「市制施行70周年」に向けて70周年を契機に、市民参画型のシティプロモーションとなるよう工夫を重ね、茨木市への誇りと愛着の醸成につなげる。

シティプロモーション基本方針から抜粋

## 目的

市内外の方が茨木をもっと好きになり、茨木との関わりをもっと増やし、茨木をもっと、ずっと元気にする

## 期間

プレ事業期間  
平成29年4月1日～12月31日

記念事業期間  
平成30年1月1日～12月31日

(単位:千円)

事業	事業費 a	特定財源 b	一般財源 c=a-b	プレ 記念
ブランドメッセージ(ロゴ)を活用した魅力発信	16,835	645	16,190	プレ
市制施行70周年啓発用懸垂幕等の作成	4,366	2,600	1,766	プレ
いばらき×大学連携事業の拡充	5,100	0	5,100	プレ
(仮称)いばらき文学賞の創設	1,058	0	1,058	プレ
いばきたフォトサイクリングの実施	1,991	0	1,991	プレ
NHK全国放送「ラジオ深夜便のつどい」公開録音	76	0	76	プレ
住民票等証明書にブランドメッセージ(ロゴ)を印刷	572	0	572	プレ
70周年記念封筒の印刷	2,151	0	2,151	プレ
[介護特会] 「元気！いばらき体操ver.3」の制作	3,845	3,363	482	記念
[介護特会] 在宅医療・介護連携シンポジウムの開催	1,497	1,205	292	記念
合計	37,491	7,813	29,678	